

## 第45回 埼玉県新型感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年9月21日（火）17：30～19：00

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

讃井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）

竹田 晋浩 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部参事

岸本 剛 衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価について

- 致死率0.1%台とインフルエンザに匹敵する程度の致死率になってきており、これだけ母数が多い中でこれほど低い致死率に抑えられているのは、医療機関の相当の努力や適切な入院調整等々の結果と言える。（岡部委員）
- 致死率が減少している要因として、様々な薬が使えるようになってきたことに加え、ワクチン接種による効果が大きいと思われる。（川名委員）

### イ 入院基準と療養施設、自宅療養の振り分け基準について

- 入院基準の緩和は妥当であるが、第5波に自宅で亡くなられた患者の遺族の中には、違和感を持つ方がいると思われるため、十分な説明が必要である。（讃井委員）
- 入院基準と療養施設、自宅療養の振り分け基準について異議なし。（委員一同）

### ウ 自宅療養基準について

- 自宅療養するための条件として、通信その他連絡が適切に取れる人である必要がある。（岡部委員）

### エ 今後の対策について

- 小児年齢者へのワクチン接種が取り沙汰されているが、重症化防止という意味では、積極的に小児年齢者への接種を推進するより、中高年者、中壮年者を対象とした接種を推進するほうが効果的である。（岡部委員）

### オ その他

- 県で実施している新型コロナウイルスに感染した妊産婦の方への相談支援について、病院やクリニック等に勤務する助産師がほとんどその情報に接していないという事情があることが分かった。そのため、事業の重要性について県の方から周知していただきたい。（松田委員）